

令和元年 10月 末の犯罪発生状況



令和元年11月13日

(公社) 滋賀県防犯協会

刑法犯認知総数

5,674件

前年同期比 -1,026件・-15.3%

犯罪増加市町 (前年比増加件数順)

米原市 128件 (+13件・+11.3%)

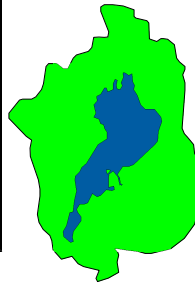
豊郷町 49件 (+15件・+44.1%)

甲良町 32件 (+6件・+23.1%)

多賀町 21件 (+1件・+5.0%)

多発犯罪 (200件以上)

- | | |
|---------|----------------|
| ① 自転車盗 | 1,164件 (-237件) |
| ② 万引き | 769件 (-4件) |
| ③ 器物損壊 | 585件 (-165件) |
| ④ 詐欺 | 307件 (-59件) |
| ⑤ 車上ねらい | 289件 (-229件) |
| ⑥ 置引き | 270件 (-65件) |



前年比増加犯罪

- | | |
|---------|-------------|
| ① 空き巣 | 140件 (+46件) |
| ② 住居侵入 | 155件 (+38件) |
| ③ 払出盗 | 40件 (+30件) |
| ④ 色情ねらい | 73件 (+11件) |
| ⑤ 出店荒し | 60件 (+1件) |
| ⑥ 更衣室荒し | 10件 (+7件) |

※ 払出盗とは、不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカードや預金通帳等を利用してATMから現金を窃取する手口のことです。

発生総数の多い市町 (300件以上)

大津市 (1,432件)・草津市 (784件)・彦根市 (522件)・長浜市 (438件)・東近江市 (369件)
甲賀市 (352件)・近江八幡市 (317件)・守山市 (308件)

犯罪率 (人口1万人当たりの刑法犯認知件数)

- ★ 10月末現在、本県の犯罪率は「40.0」で、全国平均の「49.2」を下回っています。
- ★ 豊郷町：66.7、草津市：58.5の1市1町が全国平均より高くなっています。

気になる犯罪 (現状と対策)

★ 特殊詐欺

- ・ 10月末における特殊詐欺の発生件数は82件 (前年同期比-4件) 被害総額は約1億7,657万円 (同一約5,917万円) で、発生件数・被害額ともに減少しました。
- ・ 手口を見ると、架空請求詐欺が43件、オレオレ詐欺が38件、還付金詐欺が1件となっています。
- ・ また、65歳以上の高齢者被害人数は60人で、被害総額は約1億2,592万円発生件数全体の約73.2%、被害総額全体の約71.3%を高齢者が占めています。
- ・ 10月中の発生は、架空請求詐欺4件、オレオレ詐欺4件の合計8件が発生し、被害額は合計1,547万円でした。このうち高齢者被害が7件・被害額は810万円です。
- ・ 今月も、発生したオレオレ詐欺は全てがキャッシュカード手交方型の被害であり、架空請求詐欺4件中の2件が、サイトの利用料金を口実とした電子マネーで支払わせる手口です。いずれも、被害額が700万円を超える高額な被害となっています。

■ 『キャッシュカードの交換が必要です。』は詐欺

- ・ 「令和になりキャッシュカードの交換が必要です。」「キャッシュカードと暗証番号を記載したメモ紙を封筒に入れてください。」から始まります。
- ・ 犯人の突然の電話や訪問に、慌ててしまうと正しい判断が難しくなります。
- ・ 顔の見えない相手を簡単に信用せず、まずは、周りの人に相談しましょう!!

■ 電話でのお金の請求は『詐欺!!』です。

- ・ 離れて暮らしていたり、昼間一人で過ごしている高齢のご家族のため、防犯機能付き電話機の利用対策等をお願いします。